

つる

都留市議会だより

No.218

令和8年2月1日発行



たくさん取れたかな？

～宝保育所 かるた大会～

定例会で決まった主なこと 他…2～3

市長所信表明……………4～5

代表質問・一般質問目次…6

代表質問・一般質問…7～13

各委員会の審査内容と結果 他…14～15

定例会議案議決結果……………16

議会日誌 他……………17

未来を紡ぐ～若者×議会～他…18

令和7年12月定例会で決まった主なこと

条例

《制定》

都留市ターゲットボードゴルフ場条例

都留市宝の山ふれあいの里条例が廃止となるため、同条例に規定されていた都留市ターゲットボードゴルフ場の設置・管理・運営に関することを新たに規定します。

《改正》

都留市職員給与条例

山梨県の人事委員会の勧告等を踏まえ改正します。

都留市長等の給与条例

市長の任期における給料を減額します。

都留市火災予防条例

林野火災注意報や林野火災警報の発令等について定めます。

※14ページ総務産業建設常任委員会の主な質疑内容もあわせてご覧ください

さい

都留市長等の給与条例

一般職の常勤職員の給与と改定等を踏まえ改正します。

《廃止》

都留市宝の山ふれあいの里条例

令和7年度をもって「都留市宝の山ふれあいの里」の施設利用を終了します。



補正予算

令和7年度都留市一般会計補正予算（第5号）

■1億513万9千円を追加

《主な歳出の内容》

- 市長任期満了に伴う退職手当

4千959万4千円

- 人事院及び山梨県人事委員会の勧告を踏まえた給与改定

5千554万5千円

令和7年度都留市病院事業会計補正予算（第3号）

■1千128万3千円を追加

- 人事院及び山梨県人事委員会の勧告を踏まえた給与改定

令和7年度都留市一般会計補正予算（第6号）

■5億2千236万円を追加

《主な歳出の内容》

- 文書電子化事業、L G W A N系端末増設事業

881万9千円

- 文書の電子化に係る機器の整備等に要する経費です。

- 障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画策定事業、

- 地域福祉計画策定事業

897万6千円

- 各計画の策定に向け、市民を対象としたアンケート調査を実施します。

- 障害福祉サービス費・障害児通所給付費等

4千2万円

障害福祉施設入所者に係る経費と児童発達支援事業や放課後等デイサービスに係る経費を増額します。

●病院事業繰出金

8千497万8千円
都留市立病院の運営状況を踏まえ、繰出基準に基づき繰り出します。

●高等教育の修学支援事業

3億1千219万円
高等教育の修学支援新制度に基づき、都留文科大学における授業料等の減免対象者が当初見込を大幅に上回ったため増額します。

●文化財保存事業

100万円
市指定天然記念物「八王子神社のイチヨウ」の保全に係る経費を助成します。

令和7年度都留市一般会計補正予算（第7号）

■3億9千475万8千円を追加

《主な歳出の内容》

●みんなで頑張ろう！地域の元気応援給付金支給事業 1億4千673万千円

令和8年1月1日時点で住民基本台帳に登録されている市民に対し、1人につき現金5千円を支給します。

●物価高対応子育て応援手当支給事業

1億4千750万3千円

令和7年9月分の児童手当支給対象児童と令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出産した児童の保護者等を対象に、児童1人につき4万円（国2万円・山梨県2万円）を支給します。

●教育長辞職に伴う退職手当

501万6千円

令和7年度都留市水道事業会計補正予算（第2号）

物価高騰による市民と企業の負担を軽減するため、6か月間の水道使用料の基本料金を免除します。

令和7年度都留市簡易水道事業会計補正予算（第2号）

水道事業会計と同様に、6か月間の水道使用料の基本料金を免除します。



その他

指定管理者の指定（道の駅つる）

○株式会社せんねんの里つる

市道の路線の認定

○四日市場田代辻瀬瀬線（452・20m）

人事案件

教育委員会 教育長

○古川渡 大竹 太

議員提出議案

議員提出議案第4号

都留市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

特別職と一般職の給与改定等、都留市職員等の旅費に関する条例の一部改正を踏まえ、改正します。

市議会議員の辞職

次の市議会議員より、議員辞職願が提出され、許可されましたのでお知らせします。

日向 美徳 議員

（令和7年10月30年辞職）

12月定例会
会期日程

◆12月10日 本会議

（開会）

◎会議録署名議員の指名

◎会期の決定

◎提出議案の市長説明並びに所信表明

◎議案審議

◎議案の委員会付託

◎大月都留広域事務組合議会議員の補欠選挙

◆12月22日 本会議

◎代表質問

◆12月23日 本会議

◎一般質問

◆12月24日

総務産業建設常任委員会
社会厚生常任委員会

◆12月26日 本会議

（閉会）

社会厚生常任委員会

◎委員長報告

◎議案審議

市長の所信表明



日向 美徳市長

私は、去る11月16日に執行された市長選挙におきまして、多くの市民の皆様から温かいご支援、ご信任を賜わり、第9代都留市長に就任させていただきました。市長就任はこの上ない光栄でありますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いがいたします。

私は都留で生まれ、都留で育ちました。子どもの時代も、働きながら子育てをしてきた今も、ずっとこのまちで暮らしてきました。だからこそ、都留市の今と未来に責任を持ちたい。そして、次の世代にも「このまちでよかった」と思ってもらえるような、そんな都留市を皆様と一緒につくってまいりたいと

考えております。私は、保育園の保護者会、小・中学校のPTAなど子育て世代や教育現場と関わってきました。また、さまざまな奉仕活動や地域活動などを通じて、地域にも関わり、さらに、親の介護を通じて高齢者福祉の現実とも向き合ってきました。

このような経験の中から、「すべての世代の声が届くまちづくり」を信条として、都留市議会議員に立候補し、3期を務めてまいりました。この間、市民の皆様の目線に立ち、皆様の声を真摯にお聞きし、行政に届けてきました。今後は、これまでの経験を生かし、市政のかじ取りを担う市長として、市民の皆様の想いをしっかりと受け止め、市民の皆様が、「このまちに生まれ、このまちで育ち、このまちで暮らすことがよかった」と思っていただける都留市づくりに、全身全霊で取り組んでまいります。

また、今回の市長選挙を顧みて、公平・公正、透明で開かれた都留市を実現して欲しいという市民の声が、大きな潮流となって現れたものと受けとめております。これらを踏まえ、私は、「市民の声が届くまちづくり」を基本姿勢として、すべての市民と共に創るまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

私は、今回、市内をくまなく巡り、多くの市民の皆様からご意見を伺ってきましたが、その中で、一番数多く寄せられたのが「物価高で生活が苦しい」

という声でした。そのため、この市民の声に応えるために、「物価高で苦しんでいる市民の皆様の暮らしを守る」ことを、第一に取り組みたいと考えております。これまで、都留市の財政は健全であると考えられてきましたが、昨年度の決算では、経常収支比率94・5パーセントという極めて硬直化した財政状況に陥っております。そのため、まずは硬直化した財政を立て直し、物価高で苦しむ市民の暮らしを守ると共に、新たな成長戦略を推進するため、ハコモノ行政から脱却し、身を切る改革を断行するなど「市民目線で税金の使い道を変える」という強い覚悟を持って、都留市の行財政経営に当たります。

私は、市政刷新に向けた「チェンジ」、すべての市民と共に創るまちづくりを進め、活気あふれる都留市を取り戻すため「都留再生」をスローガンに掲げてまいりましたが、「都留再生」を実現するため、3つのビジョンと19の施策を公約として掲げており、これらを、来年度の当初予算、さらに、現在、策定作業がスタートしている「第7次都留市長期総合計画」に落とし込むとともに、その計画の柱として、将来を見つめ、今を創るため、教育を核にさまざまな産業や文化が栄える「教育首都つるバージョン2・0」の推進を位置づけ、全体像の具体化に向けたロードマップをしっかりと描き、実現に繋げて行きたいと考えております。その際には、市民の皆様の声や専門家のアドバイスを真摯に耳を傾け、さらに税金の使い道など長期的な展望に立って、具体的な内容やその進め方を決定し、着実に実現していきたいと考えておりますので、議員各位を初め、市民の皆様におかれましては、何とぞ力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日向市長

3つのビジョンと19の施策

第1のビジョン 「豊かな暮らしの実現」

市民の皆様がこのまちに生まれ、このまちで育ち、このまちで暮らすことが、よかったと思える都留市の実現

【具体的な施策】

「公共事業の透明化と公平・公正な行財政改革の推進」「審議会の女性比率の向上」「職員が意欲を持って働ける市役所づくり」「伝統産業の振興・先端産業の誘致」「起業化・事業化の支援」「交流人口等を拡大するため『地域まるごとホテル構想』の推進」「防災拠点の強靱化」「避難時用の備品等を拡充した災害対策の強化」など

第2のビジョン 「安心できる医療・福祉の実現」

市民から信頼され、愛される市立病院づくり、福祉・介護などすべての世代に切れ目のない福祉サービスの充実に取り組み、市民の皆様が安全で安心して暮らせる都留市の実現

【具体的な施策】

「独立行政法人化せずに市立病院の経営改革の推進」「県立病院を核に大月・上野原3病院の連携強化を図り、安心な地域医療体制の構築」「各種の介護老人福祉施設の充実による家族の介護負担の軽減」「健康寿命延伸の支援・推進体制の整備」「社会人の新たな知識やスキルを身につける学び直し（リカレント教育）の支援」など

第3のビジョン 「未来への希望が持てる都留市の実現」

若い世代が希望を抱いて住み続け、安心して結婚、出産、子育てができる都留市の実現

【具体的な施策】

「空き家・市営住宅・廃校を民間活用によりリニューアルし、安価で良質な住環境や地域活性化拠点の整備」「幼少期から英語やICTに触れる機会創出の支援」「地元企業への就職促進のため奨学金の返還を支援」「都留文科大学の充実」「民間の力を活用し人材養成の教育機関の創設」「再生可能エネルギー、水素などのクリーンエネルギー導入の促進」など

市政を問う！

議会だよりでは、質問と答弁の要旨を掲載します。全文については、会議録をご覧ください。

会議録は市ホームページ、市立図書館及び都留文科大図書館、各地域コミュニティセンターで閲覧できます。

また、YouTubeでも録画配信しています。



YouTubeでの録画配信 会議録検索システム

代表質問

- | | | | |
|------------------------------------------|-------|----------|------|
| 1 | 新 風 | 小澤 眞 議員 | 7ページ |
| (1) 今後の都留市政全般について | | | |
| 2 | 創政会 | 奥脇 隆夫 議員 | 8ページ |
| (1) 新市長の公約の実現について | | | |
| (2) 安心・安全なまちづくりについて | | | |
| (3) 公共交通について | | | |
| 3 | 政策研究会 | 志村 武彦 議員 | 9ページ |
| (1) 厚原牛石地区企業誘致事業について | | | |
| (2) 財政状況について | | | |
| (3) セーフコミュニティ・インターナショナルセーフスクール事業について | | | |
| (4) 第7次都留市長期総合計画及び都留市都市計画マスタープランの見直しについて | | | |

一般質問

- | | | |
|---------------------------------|----------|-------|
| 1 | 谷垣 喜一 議員 | 10ページ |
| (1) 重点支援地方交付金の活用について | | |
| (2) 認知症施策推進計画について ほか | | |
| 2 | 小林 健太 議員 | 10ページ |
| (1) 行財政改革について | | |
| (2) 選挙・政治参加の健全化について | | |
| 3 | 小俣 哲夫 議員 | 11ページ |
| (1) 教育首都つるバージョン2.0について | | |
| (2) 市政運営について ほか | | |
| 4 | 宮林 俊 議員 | 11ページ |
| (1) 子育て政策について | | |
| 5 | 小俣 義之 議員 | 12ページ |
| (1) 安心して移動できる都留市について | | |
| (2) 市政運営の方針について | | |
| 6 | 小俣 武 議員 | 12ページ |
| (1) 都留市立病院について ほか | | |
| 7 | 国田 正己 議員 | 13ページ |
| (1) 未来をつくる専門学校構想について | | |
| (2) インターナショナル・セーフ・スクール（ISS）について | | |
| 8 | 山本 美正 議員 | 13ページ |
| (1) 消防広域化について | | |
| (2) 安心できる医療・福祉の実現について | | |

今後の都留市政全般について問う



新風 小澤 眞 議員

問 未来への希望が持てる都留市の実現とは。

答 若い世代が希望を抱いて住み続け、安心して結婚、出産、子育てができる都留市の実現を目指すものであり、具体的な施策としては、「空き家・市営住宅・廃校を民間の力でリニューアルし、安価で良質な住環境や地域活性化拠点の整備」「幼少期から英語やICTに触れる機会創出の支援」「地元企業への就職促進のため奨学金の返還を支援」「都留文科大学の充実」「民間の力を活用した人材養成の教育機関の創設」「再生可能エネルギー、水素などのクリーンエネルギー導入の促進」などに取り組む。

問 水道料金について伺う。

答 令和6年3月、令和6年から令和15年までを計画年度とする「第2次都留市水道事業・簡易水道事業経営戦略」が策定され、令和9年度と令和14年度にそれぞれ140パーセントの料金改定が盛り込まれ、令和6年3月22日には都留市水道運営委員会から市長宛に経営戦略として妥当な内容であると答申が行われている。

水道は、日常生活に欠かすことのできない重要なライフラインであり、これからも安定的に、安全・安心な水道水を供給するためには、老朽化した水

道インフラの整備や、自然災害に備えた強靱化は不可欠となるが、一方、水道料金の急激な大幅値上げは市民生活に大きな影響を及ぼすため、「市民の皆様が暮らしを守る」観点から、一度に、かつ大幅に値上げすることのできる限り抑制するため、様々な方策を検討したいと考えている。

なお、水道料金については、喫緊の取組として、このたびの国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、基本料金を6か月間免除にする対策を実施できるよう調整を進めている。

問 地域商品券とは。

答 市民の切なる要望に応えるため、物価高対策として地元商店街の振興と市民の皆様の暮らしを支援することを目的としたものである。

私が市長に就任したことを受けて、市民の皆様から、できるだけ早く対策を実施することが期待されているため、財源として、このたびの国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、県の取組も総括的に勘案した上で市の支援策を講じていく。

実施方法としては、経費の削減や関係者の負担を軽減し、さらに市民の立場に立ったスピード感のある対応を優

先して、公約に掲げた地域商品券にこだわらずに、市民一人5千円を現金で給付できるよう調整を進めている。

また、地元商店や事業者等への支援については、関係機関との検討を進めているところであり、追って具体的な支援策を講じていく。

問 学校外教育の負担軽減とは。

答 経済格差による教育格差は、放課後に生まれやすい状況であり、実際、世帯収入が高いほど学校外教育費の支出が多い傾向である。

このような状況を踏まえ、保護者の経済状況によって子どもの教育環境の格差が生まれないよう塾や習い事、各種教室等の学校外教育の負担軽減を通じて、子供たちの学力や学習意欲の向上を図り、個性や才能を伸ばす機会を提供するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていきたい。



新市長の公約の実現について問う



創政会 奥脇 隆夫議員

問 公約の実現について伺う。

答 「市民の皆様の暮らしを守る」ことを第一に取り組む施策として掲げ、具体的な公約として5項目を掲げた。

1つ目は、「水道料金的大幅な値上げの抑制」で、喫緊の取組として水道料金の基本料金を6か月間免除にする対策を実施できるよう調整を進めている。2つ目は、「みんなで頑張ろう地域商品券」の配布で、スピード感ある対応を優先して、市民一人5千円を現金で給付できるよう調整を進めている。3つ目は、「すべての0歳から2歳児の保育料の無償化、おむつ代の支援」で、新年度には持続可能な制度設計を行い、早期に実現できるよう取り組みたい。4つ目は、「学校教育の負担軽減」で、保護者の経済状況によって子どもの教育環境の格差が生まれないようにすることを目的に掲げた。5つ目は、「全戸に行き届く公共交通の整備」で、費用を抑えた持続可能で全市民が不自由なく利用できる公共交通の整備に発展させていく。

安全・安心なまちづくり
について問う

問 防災無線の現状認識と今後の方向性は。

答 市内では、防災行政無線の屋外放送が一部地域で聞き取りづらい状況が生じており、従来型の屋外放送だけでは十分ではないものと認識している。屋外の防災行政無線放送に加え、メール配信、電話応答サービス、市ホームページへの掲載、市公式LINEなど、複数の手段を用いて災害情報を伝達しているが、こうした情報を受け取る媒体を持たない方もいることを踏まえ、本市に最適な情報伝達手段の在り方について対策を進めている。

今後新たな伝達手段の導入に当たっては、効果とコストを十分に考慮し、様々な媒体を活用した確実な情報伝達体制の検討と整備を進めていく。

問 セーフコミュニティとして既にデータが出て分析もされている中で、事業を継続する必要があるか。これまでのノウハウを利用して独自の安心・安全なまちづくりをすることは不可能なのか。この予算を、市内の実施団体に支出してもいいと考えるがいかが。

答 セーフコミュニティ事業以外にも安全・安心なまちづくりを進める事業を進めているため、セーフコミュニティの要素をその他の業務に落とし

込むことや連携することは可能であると考えている。

仮定の話にはなるが、各地域協働のまちづくり推進会などが、地域課題の解決策の一つとして、セーフコミュニティの各対策委員会での取組を担っていただくなどして費用が増大し、既存の補助内で賄われなくなった場合などは、補助額の改定も検討できるものと考えている。

公共交通について問う

問 目指すべき公共交通の整備の方向性とプレ運行の利用状況を伺う。

答 市民のニーズに応え、生活を支える持続可能な便利で利用しやすい公共交通の実現に向け、現在、A1デマンド交通とデマンドタクシーのプレ運行を実施している。A1デマンド交通は、車を持たない大学生の移動や運転免許を返納した高齢者の利用を目的に整備しており、4月からの本格運行に向け、運行条件等の改善に努めている。

プレ運行の利用状況は、11月12日から30日までで、運行回数179回で1日平均9・4回、利用者数は延べ197名である。

厚原牛石地区企業誘致事業について 問う

政策研究会 志村 武彦議員



問 厚原牛石地区企業誘致事業の進捗状況と事業費は。

答 現在、埋蔵文化財の試掘調査と本掘調査を進めるとともに、都留インターチェンジからのアクセス道路となる栄町長者町線支線3号（牛石橋）補修補強工事を工業団地整備と併せて実施している。

事業費は、埋蔵文化財調査方法などが確定していない状況ではあるが、都留市土地開発公社への業務委託部分を含め、現時点で、用地費約11億3千万円、埋蔵文化財調査費約4億4千万円、インフラ整備費約13億5千万円の合計約29億2千万円を見込んでいます。

問 遺跡発掘調査の進捗状況とその費用は。

答 現在、試掘調査を実施しており、先行区画は、令和8年12月の完了に向け調査を進めている。

また、試掘調査は、おおむね4千万円を見込み、都留市土地開発公社が発注主体となる本掘調査は、おおむね3億円と聞いている。

問 今後の予定は。

答 用地交渉と埋蔵文化財調査を継続し、調査が完了した区画から順次インフラ整備に着手し、整備が完了した区画から企業への引渡しを行う。

問 カナデビア株式会社・山梨県・本市で締結した協定書とは。

答 主な内容は、「工場建設への支援体制の確立」「操業に伴う地元雇用や地元企業の活用による地域振興」「水素社会の実現」に向けて、3者が連携して取り組むこととなっている。

財政状況について問う

問 現在の財政状況は。

答 一般会計における令和6年度末の市債現在高111億5千957万6千円のうち、臨時財政対策債が46億3千347万8千円であり、実質的な市債現在高は65億2千609万8千円である。

問 令和6年度決算時の経常収支比率は。

答 令和6年度決算における経常収支比率は94・5パーセントである。

経常的な人件費の増加と物価高騰が要因である。

問 今後の財政運営について

答 例年、当初予算には必要に応じた各種基金の目的に沿った額の繰り入れを行っており、令和8年度も同等となると考えている。

セーフコミュニティ・インターナショナルセーフスクール事業について問う

問 今後の方向性は。

答 関わってこられた市民及び学校関係者への負担が大きいの声もあつたため、様々な市民の意見を踏まえ、最適な方向を見出していきたい。また、インターナショナルセーフスクール事業の他校への導入については、学校の主体性を尊重して検討していく。

第7次都留市長期総合計画及び都留市都市計画マスタープランの見直しについて問う

問 今後の方向性と主な事業は。

答 本年度中に基本的な考え方や重点分野の整理を行い、来年度には「都留市長期総合計画審議会」を設置し、3つのビジョンを中心とした政策の実現に向けた内容を盛り込み、基本構想及び基本計画の策定を進めていく。

また、第7次都留市長期総合計画策定後には、都市計画マスタープランとの整合性の確認を行い、必要が生じた際には、運用面での補足や計画の一部見直しの要否について検討していく。

行財政改革について問う

小林 健太 議員



問 前市長が財政健全化基準を満たしている中、全面的に批判して当選され将来負担費比率や実質公債費比率の健全化基準を満たした上で経常収支比率を70パーセント台にするのは非常に難しい事であると考えています。また、同時に公約の実現をしていくとなると財源の確保が難しい政策が多く感じますが、どのような政策展開をするのか。

答 しっかり現状分析を行い、義務的経費である人件費については、職員が意欲を持って働ける職場づくりを前提に、職員の声を聞く中で、改革に取り組んでいきたい。

重点支援地方交付金の活用について問う

谷垣 喜一 議員



問 本市の物価高騰対応重点支援地方交付金活用に向けた施策とは。

答 第一に、全市民を対象とした一律5千円の現金給付を実施する予定であり、第二に、水道基本料金の6か月分の免除を行う予定である。第三に、学校給食費無償化事業への充当予定であり、これら3つの事業は、いずれも公平性と物価高騰による負担を具体的に和らげる実効性を両立させることを重視して構成した。

認知症施策推進計画について問う

問 認知症施策推進計画の策定の考えは。

答 第10期介護保険事業計画と一体的な認知症施策推進計画を策定していく。

問 認知症初期集中支援チームの体制は。

答 平成28年度に設置し、月1回、認知症サポート医の助言をいただきながら、認知症地域支援推進員を中心

選挙・政治参加の健全化について問う

また、このたびの国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用と同様に、今後も国や県の動向を注視しながら、公約の実現に繋げていきたい。

問 近年の選挙では誹謗中傷や候補者の間の過度な批判が目立ち、政治離れや投票率低下が深刻だが、現状認識と課題は。

答 各種メディアでは、若い世代ほど政治や政策項目などへの興味関心

としたチーム会議を開催している。

問 認知症ケアパスの作成・普及の状況は。

答 平成27年に作成し、適宜情報の更新を行いながら、地域包括支援センターや医療機関等の窓口で配布している。今後は、ホームページ上への掲載とともに、必要な見直しを行っていく。

※このほか、認知症地域支援推進員の配置について・認知症基本法の理念や新しい認知症観の普及啓発活動についても質問しました。

がないことが大きな問題として取り上げられることが多く、昨今の状況を顧みれば、批判を伴う激しい選挙戦や公職者に対する問責的報道など、政治への忌避感を高めるような出来事が多くなりつつあることが大きな要因として感じられるところでもあり、残念ながら、本市における状況も決して例外ではないと認識している。

今後、どのような手立てが効果的なのかを含め、投票率向上に向けた啓発、特に若い世代に対して政治への関心を高められるような手法などについて、研究し、取り組んでいきたい。

子育て政策について問う



宮林 俊議員

答

私も、市民の声が届くまちづくりを推進するために、多くの市民の

す考えはあるか。

問 2歳以下の保育料無償化については、なお検討段階との印象を受けたが、市長として「できるだけ早期に実施する」という政治的判断を下す考えはあるか。

充実を図っていく。

答 財源の確保に関する検討を行った上で、令和8年度中に無償化を実施し、子育てに係る経済的負担を軽減することにより、さらなる保育環境の

問

2歳以下の保育料無償化について伺う。

私、市民の声や専門家のアドバイスを受け、令和8年度には持続可能な制度設計を行い、早期に実現できるよう取り組みたい。

支援が必要と考えている。

答 現在、物価高騰が続く中、乳幼児を育てる世帯はより強い影響を受けているとの調査結果もあることから、乳幼児用紙おむつ等の購入費用の

問 おむつの配布について伺う。

いと考えている。

皆様の意見を聞きながら、関係者に確認をしながら、早期に実現を目指したいと考えている。

問

物価高の影響は「今」まさに子育て世代を直撃している。おむつの配付について、令和8年度中に、少なくともモデル事業や試験的实施を行う考えはあるか。

答

令和8年度中の事業実施に向けて、できる限り早期に試験的な実施なども含め、検討を進めていきたい。

【その他の質問】

■習い事への補助金について

■空き家・市営住宅・廃校のリニューアルについて

アルについて

「教育首都つるバージョン2.0」について問う



小俣 哲夫議員

問

「教育首都つるバージョン2.0」の概要と現行施策との相違点は。

答

「教育首都つる」は、市民と学生が集い、学問や文化・芸術・体育が融合した知的風土を醸す、学園のまちとして、学校教育や生涯学習はもとより、まちづくり全般にわたり都留文科大學等の知的資源を活用したまちづくりを進めるために掲げられた。

私は、「教育首都つる」を発展させ、本市の成長戦略として、都留文科大學を中核に、健康科学大學、産業技術短期大學、そして、新たに時代の二

問

市政運営における参与の位置づけと行政への関与や議会との関係性は。

市政運営について問う

ズに対応できる人材養成の教育機関などを民間の力を活用して創設し、企業や教育・福祉・医療施設、研究施設などが集積する「教育」を核に、様々な産業が栄えるまちづくりを進めるために「教育首都つるバージョン2.0」の実現を掲げており、本市の成長戦略として位置づけていきたい。

答

参与は、「都留市顧問及び参与の設置に関する規則」に規定された非常勤の特別職員であり、職務は、市の特定の分野における専門的または技術的事項について、市長からの相談に応じ、調査及び研究し、必要な助言を行うものとされており、市長の政策アドバイザーと位置づけられる。

そのため、議会との直接的な関係性は持たず、政策形成における市長への助言が主な役割となる。

都留市立病院について問う

小俣 武 議員



問 公立病院経営強化プランの進捗とその成果を伺う。

答 市立病院では、令和5年度に総務省のガイドラインに基づいて「都留市立病院経営強化プラン」を策定し、また「公立病院として、不採算部門である救急・小児・周産期・災害などの政策的医療と高度・専門医療を担うこと」「地域住民の生活を支える『地域密着型の小規模多機能な病院』としての役割を果たすこと」も担う役割として目標に掲げている。

これらを達成するために、令和6年3月には山梨県と「医療措置協定」を

問 病院建設から36年が経過する中で、今後の対策は。

締結し、新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組や同年5月には山梨県から委託を受け、「富士・東部医療的ケア児支援センター」を開設したほか、令和7年4月からは訪問看護業務を開始し、従来から行っていた訪問診療とあわせ在宅支援体制の強化を図っている。

さらに、令和7年10月には市から産後ケア事業の委託を受け、地域に密着した医療等を提供できるよう体制づくりを行っている。

【その他の質問】

■下水道事業について

安心して移動できる都留市について問う

小俣 義之 議員



問 「安心して移動できる都留市」とは具体的にどのような事業か。

答 市民の皆様の暮らしを守る5項目の公約の一つとして「全戸に行き届く公共交通の整備」を位置づけている。

令和7年11月よりA1デマンド交通のプレ運行と、デマンドタクシーも路線を拡大し運行しているが、アンケートによる市民の声を令和8年4月からの本格運行に向けて、運行条件等の改善に生かしていきたいと考えている。

問 公平公正な市政運営とは。

市政運営の方針について問う

する運送サービスである「公共ライドシェア」などを含め、先行自治体の事例を調査研究するとともに、市民の声や専門家のアドバイスを受け、交通弱者の移動手段の確保を第一に、費用を抑えた、持続可能で全市民が不自由なく利用できる公共交通の整備に発展させていきたい。

答 先人たちが築き上げてきた信頼と思いやりにあふれ、「住みたいまち」「住み続けたいまち」に都留市を再生し、未来の子どもたちに引き継いでいくことが、今を生きる私たちの重要な使命であると考えている。

また、市民の皆様が、「このまちに生まれ、このまちで育ち、このまちで暮らすことがよかった」と思っていただけの都留市にするためには、公平公正、透明で開かれた市政を実現することが不可欠であり、そのために、自らを律し、全身全霊で市政運営に取り組んでいく覚悟である。

消防広域化について問う

山本 美正 議員



問 近隣市町村との消防広域化についての考えを伺う。

答 消防広域化は、将来的に持続可能な消防体制の構築に向けた重要な選択肢の一つであると認識しており、本市では、既に、大月市・上野原市との消防指令センターの共同運用のほか、「山梨県常備消防相互応援協定」や近隣消防本部との「消防相互応援協定」を締結し、運用している。

本市は、市内のどの地域においても一定の消防力が保たれているほか、安定した財政運営ができているものと認識しており、広域化については、本市

未来をつくる専門学校構想について問う

国田 正己 議員



問 「未来をつくる専門学校構想」とはどのようなことか。

答 私は、本市の成長戦略として、新たな時代のニーズに対応できる人材養成の教育機関などを民間の力を活用して創設し、都留文科大学を中核に「教育」を軸とした様々な産業が栄える「教育首都」つるバージョン2.0の実現を掲げており、これを「第7次都留市長期総合計画」の中に位置づけ、具体化に向けたロードマップをしっかりと描き、実現につなげていきたいと考えている。

この中で、特に新たな時代のニーズ

に対応できる人材養成の教育機関となる「未来をつくる専門学校」の創設は、

重要な役割を担うものと考えており、その実現には、豊富なノウハウや資金力がある民間の力を活用することが不可欠であると考えている。具体的な中身については、今後、専門家や関係機関を交え、じっくりと検討していく。

インターナショナルセーフスクール(ISS)について問う

問 インターナショナルセーフスクールの取組とは。

答 児童生徒、教職員、PTAと地域が一つのチームとなり、国際認証機関の設定する8つの指標の達成により、子どもたちをはじめ、すべての人たちにとって学校の環境がより安全なものとなるよう、事故や事件を予防する活動を実施する取組である。

問 審査員からの評価は。

答 令和7年11月に審査を受け、モデル校は両校ともインターナショナルセーフスクールとしての認証を受け、2月に認証式を挙行する。

安心できる医療・福祉の実現について問う

問 公約第2のビジョンの施策とは。

答 私の第2のビジョンである「安心できる医療・福祉の実現」とは、

市民の皆様から信頼され愛される市立病院づくりや、福祉・介護などすべての世代に切れ目のない福祉サービスの充実に取り組み、市民の皆様が安全で

安心して暮らせる都留市の実現を目指すものである。

そのための具体的な施策としては、独立行政法人化によらない市立病院の経営改革を推進すること、県立病院を核に大月・上野原3病院の連携強化を図り、安心な地域医療体制を構築すること、各種の介護老人福祉施設の充実による家族の介護負担を軽減すること、健康寿命延伸の支援・推進体制を整備すること、社会人の新たな知識やスキルを身につける学び直し、いわゆる「リカレント教育」の支援などに取り組むこととしている。

委員長：山口 一裕 副委員長：藤江喜美子
委員：小俣 義之、谷垣 喜一、山本 美正、志村 武彦、宮林 俊

付託された議案6件（条例2件、補正予算1件、その他3件）について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

■審査した議案（付託議案）

- ・議第77号 都留市火災予防条例中改正の件
- ・議第78号 都留市宝の山ふれあいの里条例廃止の件
- ・議第79号 指定管理者の指定の件（道の駅つる）
- ・議第80号 財産の無償貸付けの件
- ・議第81号 市道の路線の認定の件
- ・議第82号 令和7年度都留市一般会計補正予算（第6号）

※議第82号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。



委員会の様子

主な質疑内容

【都留市火災予防条例の一部改正】

問 林野火災注意報の発令基準や発令時の周知方法は、

答 林野火災注意報の発令基準については、前3日間の合計降水量が1ミリ以下であつて、前30日間の合計降水量が30ミリ以下であること、または、前3日間の合計降水量が1ミリ以下であつて、乾燥注意報が発表されていることとなっている。ただし、当日に降水が見込まれる場合や積雪がある場合にはこの限りではないとされている。

周知方法については、防災無線や防災メールのほか、ホームページへの掲載等を行う予定である。

問 林野火災注意報を発する基準は、

答 林野火災注意報の発令基準の状況に加え、強風注意報が発表されている場合に発令することとなっている。

【都留市宝の山ふれあいの里条例の廃止】

問 既存施設等の今後の管理方法は、

答 地域の安全確保を最優先に、残された土地や建物の管理方法を含め、関係各課と連携し検討していく。

議会運営委員会の構成

日向美徳議員の辞職に伴い、議会運営委員会委員長と副委員長が変更となり、新たに1名が委員に選任されました。

委員長 小俣 武
副委員長 山口 一裕
委員 谷垣 喜一

会派構成

令和7年11月25日現在

政策研究会			新風			創政会		
代表 志村 武彦 議員			代表 小澤 眞 議員			代表 藤江喜美子 議員		
奥 秋 保 議員	小 俣 武 議員		宮林 俊 議員	小俣 哲夫 議員	小林 健太 議員	奥脇 隆夫 議員	山口 一裕 議員	谷垣 喜一 議員

社会厚生

常任委員会

12月24日
午後1時30分から
12月26日
午後10時05分から

委員長：奥脇 隆夫 副委員長：国田 正己

委員：小俣 武、鈴木 孝昌、小澤 眞、奥秋 保、小林 健太、小俣 哲夫

付託された議案8件(条例4件、補正予算4件)について審査したところ、12月24日の委員会において「議第76号 都留市立病院運営委員会条例中改正の件」については、改正条例の施行日等についての質疑があり、これを受けて12月25日に施行日にかかる議案の訂正が提出されたため、12月26日に本会議での承認を経て、再審査を行いました。審査の結果、付託議案の全てを原案可決としました。

審査した議案(付託議案)

- ・議第73号 都留市ターゲットバードゴルフ場条例制定の件
- ・議第74号 都留市手数料条例中改正の件
- ・議第75号 都留市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等中改正の件
- ・議第76号 都留市立病院運営委員会条例中改正の件
- ・議第82号 令和7年度都留市一般会計補正予算(第6号)
- ・議第83号 令和7年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ・議第84号 令和7年度都留市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ・議第85号 令和7年度都留市病院事業会計補正予算(第4号)



委員会の様子

※議第82号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

主な質疑内容

【都留市ターゲットバードゴルフ場条例の制定】

問 使用料の徴収方法と徴収事務の委託先は。

答 使用料の徴収は、ターゲットバードゴルフ協会に委託しており、徴収の都度、市内と市外を選別して徴収をしている。

【都留市立病院運営委員会条例の一部改正】

問 委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができないとあるが、委任は含めなくてよい。また、感染症等を想定して、オンライン会議も含めてはどうか。

答 今後検討し、円滑に会議が開かれるように努めていく。

問 施行日が新年度からとなっている。それまでの間に招集しなければならないこともあると思うが。

答 臨時の案件も考えられるため、施行日を公布の日からに改めることで進めさせていただきたい。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か ？

傍聴は、議会の様子を議場に来て直接見たり聞いたりすることを言います。

傍聴は、簡単な手続きで議員の活動に触れることのできる良い機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。(会議途中での入退場も可能です。)

次回の定例会は、
2月25日(水)午前10時開会予定です。

各委員会も傍聴することができます。

●総務産業建設常任委員会

3月12日(木)午前10時～

●社会厚生常任委員会

3月12日(木)午後1時30分～

●予算特別委員会

3月13日(金)午前10時～

3月16日(月)午前10時～

3月17日(火)午前10時～



12月定例会議決結果

(議員別賛否を含む)

区分	議案等名	議員名 議決結果	宮林	奥脇	山口	小俣	志村	小林	奥秋	山本	小澤	藤江	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
			俊	隆夫	一裕	哲夫	武彦	健太	保	美正	眞	喜美子	孝昌	喜一	正己	義之	武
市長提出	議第69号 都留市職員給与条例等中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第70号 都留市長等の給与条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第71号 令和7年度都留市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第72号 令和7年度都留市病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第73号 都留市ターゲットバードゴルフ場条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第74号 都留市手数料条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第75号 都留市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第76号 都留市立病院運営委員会条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第77号 都留市火災予防条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第78号 都留市宝の山ふれあいの里条例廃止の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第79号 指定管理者の指定の件(道の駅つる)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第80号 財産の無償貸付けの件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第81号 市道の路線の認定の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第82号 令和7年度都留市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第83号 令和7年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第84号 令和7年度都留市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第85号 令和7年度都留市病院事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第86号 都留市長等の給与条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第87号 令和7年度都留市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第88号 令和7年度都留市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第89号 令和7年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第90号 教育委員会教育長の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	議員提出 都留市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長は採決に加わりません。

議 会 日 誌

10月

- 1日(水) 議会だより編集委員会
 5日(日) 第27回都留いきいきフェスティバル2025開会式典
 10日(金) 社会資本整備推進山梨県議会議員連盟講演会・臨時総会(決起集会)
 11日(土) 都留文科大学創立70周年記念式典・記念講演
 15日(水) 富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会総会
 16日(木) 全国自治体病院経営都市議会協議会正副会長・監事・相談役会議(～17日)
 19日(日) 第47回都留市合唱祭
 20日(月) 議会だより編集委員会
 27日(月) 第19回地域医療政策セミナー、都留・ヘンダーソンビル友好委員会理事会・総会
 29日(水) 第274回山梨県市議会議長会定期総会
 30日(木) 全員協議会、山梨県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会

11月

- 2日(日) 第32回都留障害者福祉ドリームまつり
 3日(月) 第70回都留市文化祭式典・表彰式
 17日(月) 都留市長選挙当選証書授与式

- 18日(火) 自治体病院全国大会2025「地域医療再生フォーラム」、正副会長・監事・相談役による要望活動、大月都留広域事務組合議会11月定例会
 23日(日) 第4回つる湧水の里ランフェス開会式、日本創生に向けた人口戦略フォーラムinやまなし
 25日(火) 富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会要望活動
 27日(木) 都留市戦没者慰霊祭、地方行財政・金融講演会
 28日(金) 山梨県体育功労者賞受賞祝賀会
 29日(土) 都留市青少年健全育成推進大会

12月

- 5日(金) 前市長退任式
 8日(月) 新市長就任式、議会運営委員会、全員協議会
 10日(水) 12月定例会開会
 22日(月) 代表質問、全員協議会
 23日(火) 一般質問
 24日(水) 総務産業建設常任委員会、社会厚生常任委員会
 26日(金) 議会運営委員会、全員協議会、12月定例会閉会、社会厚生常任委員会、議会改革特別委員会、仕事納め式

各会議等における議員の欠席等 日数状況報告

(R7.10月～12月)

		宮林 俊	奥脇 隆夫	山口 一裕	小俣 哲夫	志村 武彦	小林 健太	日向 美徳※	奥秋 保	山本 美正	小澤 眞	藤江 喜美子	鈴木 孝昌	谷垣 喜一	国田 正己	小俣 義之	小俣 武
本 会 議	欠 席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅 刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早 退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
常 任 委 員 会	欠 席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅 刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早 退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特 別 委 員 会	欠 席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅 刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早 退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 員 協 議 会	欠 席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅 刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早 退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議 員 研 修	欠 席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅 刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早 退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※日向美徳議員は、10月30日までの状況となります。



未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



山梨県立産業技術短期大学校
都留キャンパス
電子技術科 2年
松川 颯さん

都留市の学校に通って思うこと

私は都留市で20年を過ごし、保育園から大学まで学びの場をすべてこの街で歩んできました。長年住み続けるうちに、都留市はまるで自分の庭のように親しみ深い存在となり、通い慣れた母校や保育園の前を通るたびに、アルバムを開かずとも思い出が鮮やかによみがえり、日々の暮らしを豊かにしてくれます。

さらに、私は卒業後の進路として都留市内の企業から内定をいただいております、これからこの街で働き続ける予定です。学びの場だけでなく、社会人としての第一歩も都留市で踏み出せることに大きな喜びを感じています。



山梨県立産業技術短期大学校
都留キャンパス
電子技術科 1年
増井 日和さん

豊かな水とともに生きるまち

市外から通学する私は、都留市の水の豊かさに魅力を感じています。豊かな水が織物の産業を支え、家中川の流れは城下町の歴史を伝えてきました。

桂川は四季ごとに穏やかさや荒々しさを見せ、自然の力強さを感じさせてくれます。釣り客が訪れる姿からも、水が人々に恵みを分け与えていることが分かります。

豊かな水が育んできた文化と自然は、未来の都留市を形づくる力になると思います。

●表紙の説明

今号の表紙は、1月14日(水)に宝保育所で行われたかるた大会の様子です。

宝保育所では、お正月の伝統的な遊びとしてかるたが親しまれており、毎年恒例の行事となっているそうです。

当日は、年長さん、年中さん、年少さん、未満児さんとクラス別の個人戦が行われ、どのクラスでも、子ども達は、札を読む先生の声をよく聞いて、一生懸命取り組んでいました。



議会だより編集委員会

議会だより編集委員会
委員長 谷垣 喜一
副委員長 奥脇 隆夫
委員 小俣 武
委員 奥秋 保
委員 山口 一裕

まだまだ寒い日が続きますので、身体に気を付けて毎日をお過ごしください。

編集委員 山口 一裕

次期定例会及び請願提出について

3月定例会日程(予定)

- 開 会 2月25日(水)
- 代表質問 3月 9日(月)
- 一般質問 3月10日(火)
- 閉 会 3月23日(月)

請願提出締切日(予定) ●2月19日(木)

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。



今年2026年は午年です。「午(うま)」は古来より俊敏さ・勇気・行動力の象徴とされてきました。本年が皆様にとつて更なる飛躍の年となり、そして素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。

さて、都留市では昨年11月に市長選挙が行われ、新市長のもと、新たな市政がスタートしました。少子高齢化など課題は山積しており、市政のかじ取りも難しいとは思いますが、都留市の繁栄のため頑張っていたきたいと思います。

私たち市議会議員も二元代表制の一翼として、今後も市政発展のため、市民の皆様の声を大事に受けとめながら、日々の精進を怠らず、議会活動に邁進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。